

参加無料

「活動の担い手不足」や
「特定の人への負担集中」に
ついてお困りの方のための

ファシリテーター養成講座

平成30年度
学びの地域支援講座
～やっぱり草津がいい
生涯学習とまちづくり～

話し合いから始まる仲間育て・まち育て

～実践！笑顔をつくるワークショップとファシリテーション～

日程：平成31年2月4日(月)9:30～11:30

場所：草津市役所 8階大会議室

対象：どなたでも参加いただけます。



内容

人と人との関わりを大切に、工夫を凝らした取り組みを行うことにより、まちが活気づき、人々が元気になるファシリテーターの役割と方法について、実践を踏まえてお伝えします。
これまで草津や他の地域の団体の活動に触れてきた谷口先生だから知ってる「今、キラリとした活動をしている方の軌跡」や、「困った時の解決案を見つける方法」を、講演いただけます。

※ファシリテーターとは？

ファシリテーターとは、会議やワークショップなどの場面において、参加者から思いやアイデアを引き出し、創造的な話し合いの場をつくる支援をする進行役のことです。
団円で活動するためには、話し合いがつきもの。この話し合いの輪の中に、ファシリテーターがいることにより、より良い話し合いになり、ひいてはより良い活動につながります。今、皆様が抱えている課題を解決する糸口になるかも…！？



講師

谷口 知弘 (公立大学法人 福知山公立大学 教授)



ワークショップの専門家として、嵐山さくらトイレや鴨川公園出町地区整備事業、京都市未来まちづくり100人委員会など市民参加・協働のまちづくりプロジェクトに参画。市民・企業・行政等が協力して地域社会を育む協働のまちづくりの研究と実践に取り組む。草津市では「ひとまちキラリまちづくり活動助成」審査員長を務める。
1964年生まれ、お茶どころ京都府宇治田原町出身。大学・大学院ではデザインを学び、デザインコンサルタントに勤務の後、大学教員となり2016年4月より現職。2002年度～2006年度、立命館大学びわこ・くさつキャンパスに勤務。

第4回 ファシリテーター養成講座

話し合いから始まる 仲間育て・まち育て

～実践！ 笑顔をつくる ワークショップと ファシリテーション～

04/FEB/2018
福知山公立大学谷口知弘
taniguchi-tomohiro@fukuchiyama.ac.jp



主催：草津市教育委員会事務局 生涯学習課

電話 ☎ 077-561-2427

FAX ☎ 077-561-2488

E-mail ✉ shogaku@city.kusatsu.lg.jp

名前、連絡先、所属されている団体名・グループ名等を御記入の上、お申込みください。当日参加も可能です。
(当日参加の場合は、会場受付にて、その旨お声がけください)

ワークショップ

知恵を集めてより良き未来を創る技術

ワークショップをデザインする

① 参加のデザイン

② 時間のデザイン

③ 空間のデザイン

チェック イン

お住まいとお名前

+

今の気持ち

10分

アイスブレイク

グッド & ニュー

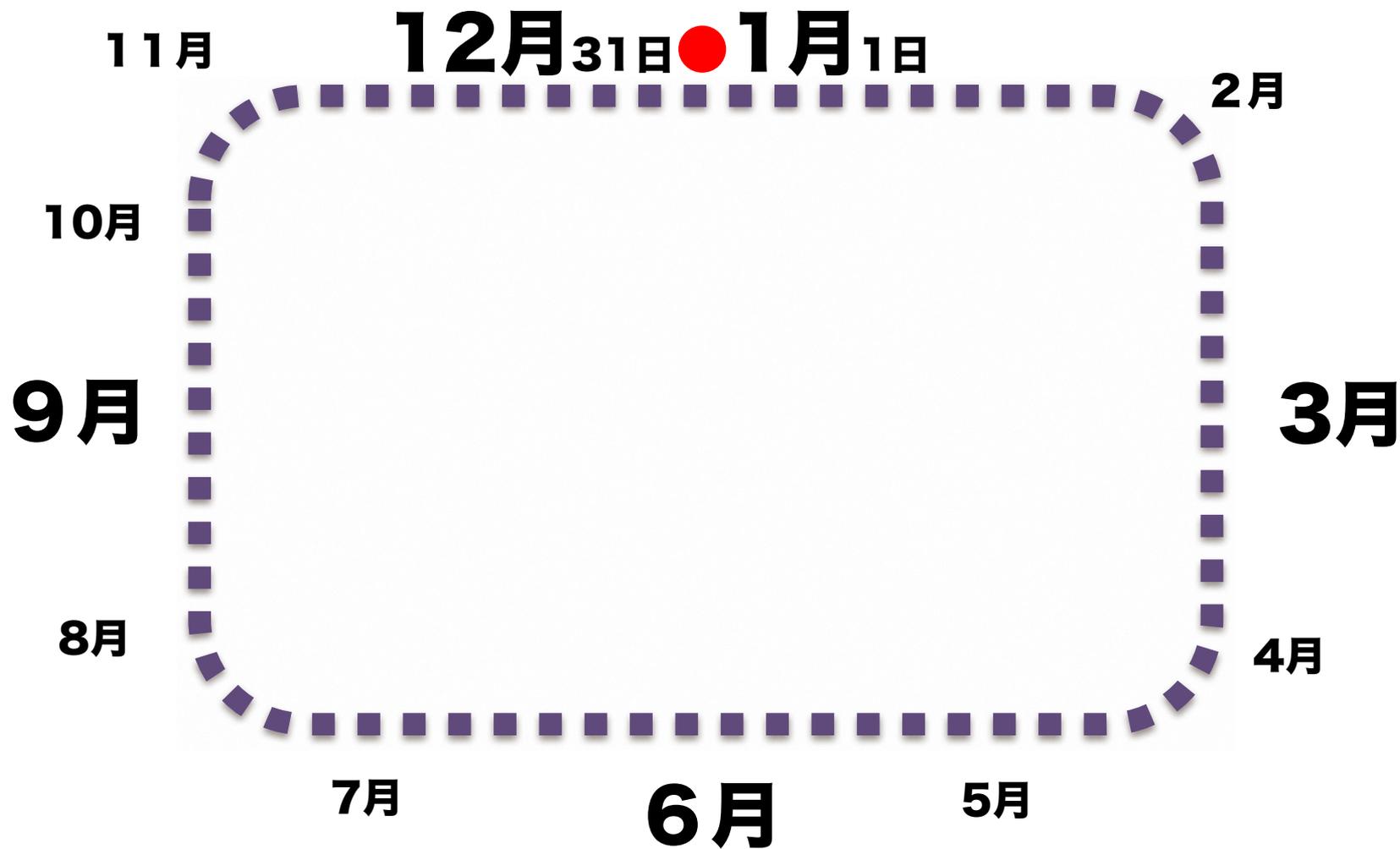
24時間以内の出来事で、
「うれしかったこと」や「新しい発見」など、
一つ教えて下さい。

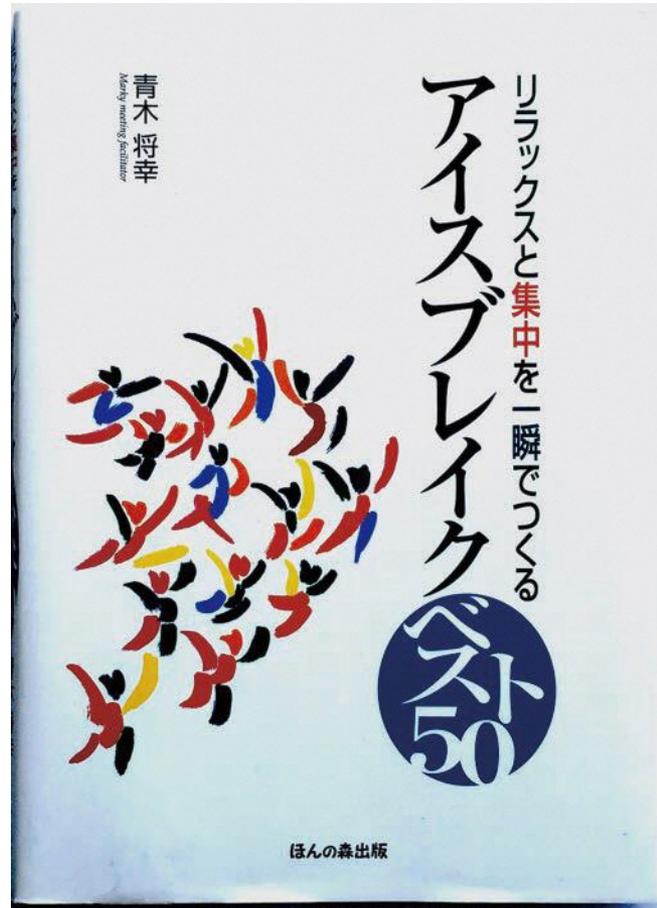
アイスブレイク

誕生日の輪／バースデーリング

10分

誕生日の輪をつくらう。



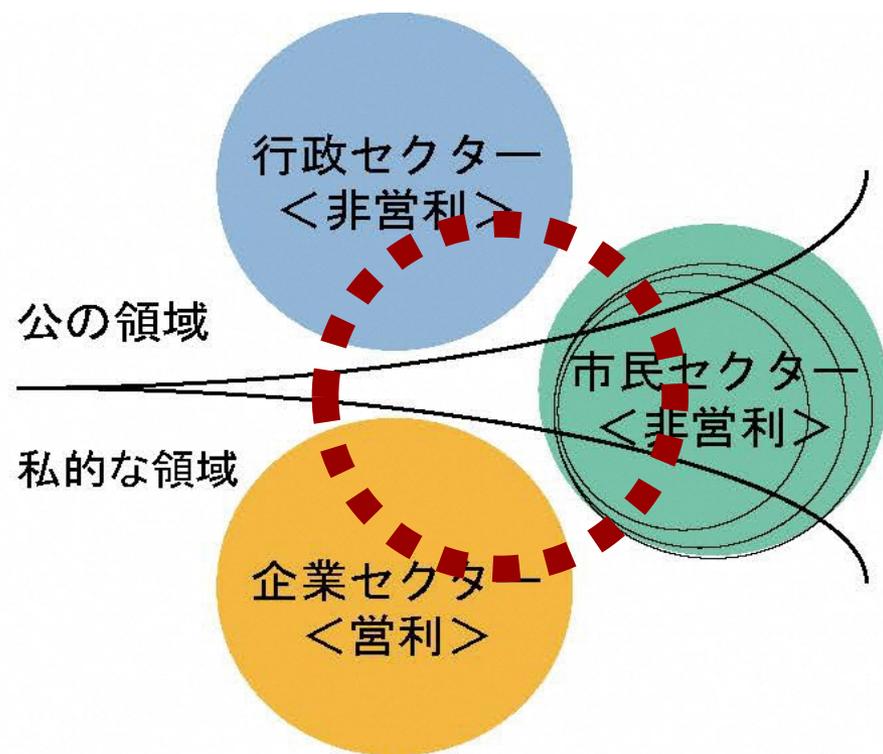


協働型まちづくりとワークショップ

多様な主体が協働でつくる

知恵を集めてより良き未来を創る

「新しい公共」



知恵を集めてより良き未来を創る技術

ワークショップ

ワークショップ、そしてファシリテーション

「ワークショップ」とは

- 講義・説明会など
一方的な知識伝達ではない。
- 参加者自らが参加、体験する
- 相互作用のなかで学び合い創り出す

【双方向的な学びと創造の技術】

ワークショップに共通する特徴

参 加

体 験

相互作用・相互学習

中野民夫著

ワークショップ

—新しい学びと創造の場—



岩波新書

710

対話型ワークショップ

多様な価値観、知識、技術、経験を持つ
人々・関係者（ステークホルダー）が集い
「問題を解決する」「未来をつくる」

技術：「ホールシステム・アプローチ」

- ワールドカフェ
- OST(オープンスペーステクノロジー)
- プロアクションカフェ
-
-

ホール
システム・
アプローチ



1000人以上でも
とことん話し合える方法

香取一昭 大川恒

Kaori Kazaki

Osawa Kou



日本経済新聞出版社

対話型ワークショップ

多様な価値観、知識、技術、経験を持つ
人々・関係者（ステークホルダー）が集い
「問題を解決する」「未来をつくる」

仕組み：「フューチャーセンター」

- 対話をイノベーションにつながる仕組み

フューチャーセンター をつくろう

対話を
イノベーション
につなげる
仕組み

野村恭彦
Takahiko Nomura



プレジデント社

そして「ファシリテーション」

- ワークショップを進行させる機能・技能
- ファシリテーター
→ ファシリテーションを担う人
- 先生のいないワークショップの場で
全体の「要」となる
- 支配・コントロールではなく
その場全体を「ホールドする」
(保つ、支える、保持する)

ワークショップの実践事例

京都市未来まちづくり100人委員会

子育て支援

ポータルサイト
「京都(^0^)/にこわく」
みんなで つくりましょー♪

景観

バリアフリー

伝統産業

公共交通

観光振興

ふらっと西京 (京都市西京区役所)



出会い・学び・つながる「対話」の場

ふらっと西京 (京都市西京区役所)



西京区 地域力 サポート事業

わくわく桂湯

日時：2013年 8月26日(月)
(荒天時は9月16日に順延)
13時~14時30分
(12時30分開場)

会場：桂湯 (西京区桂木ノ下町 21-2)

入場無料 先着50名程度

※会場には駐車場・駐輪場はありませんので、公共交通機関・徒歩でおいでください。道中、十分にお気をつけください。
※イベント当日は、桂湯さんの定休日につき、お風呂はご利用頂けません。
※イベント会場及び周辺は禁煙とさせていただきます。

◆プログラム

- おふる DE マジック・腹話術ショー
「ワクワクマジック・かんちゃんと遊ぼう」
- お風呂のお話 (寸劇紙芝居)
「王さま 銭湯に行く」
- みんなでつくろう! おふるの歌!
「僕らはみんなフロ入る」
- おふるで踊ろ!
「みんなでダンス」

後援：京都市



西京区 地域力 サポート事業

こんどはハロウィン!

わくわく桂湯

●ハロウィン工作ワークショップ&仮装パレード

日時：10月26日(土) 午前10時~12時

場所：桂湯 (西京区桂木ノ下町 21-2)

内容：○ハロウィンの飾りになる工作をつくります。
○ハロウィンの仮装・フェイスペインティングをして桂湯の近所をパレードします。

対象：小学生までの子供と保護者

申込：電話かメールにて下記の項目を添えて申し込みください。(先着15名)
(申込項目：参加する子どもの氏名・学年・住所、保護者の参加の有無、保護者氏名)
西京区役所地域力推進室まちづくり推進担当
電話：381-7197 メール：inqbc107@city.kyoto.jp

★持ち物★
ハサミ・ノリ・色を塗る筆記用具 (色鉛筆・マーカーなど)

仮装での参加大歓迎だよ!

●ハロウィンの日のお楽しみ! 10月31日(木) 午後5時00分~8時

○ハロウィン当日の10月31日は、桂湯がハロウィンの雰囲気いっぱいになり、来てくれた方にはお菓子をプレゼント!(先着100名)

西京銭湯部隊沸いてるんジャー

西京銭湯部隊沸いてるんジャー

協働の公園づくり 鴨川公園出町deワークショップ



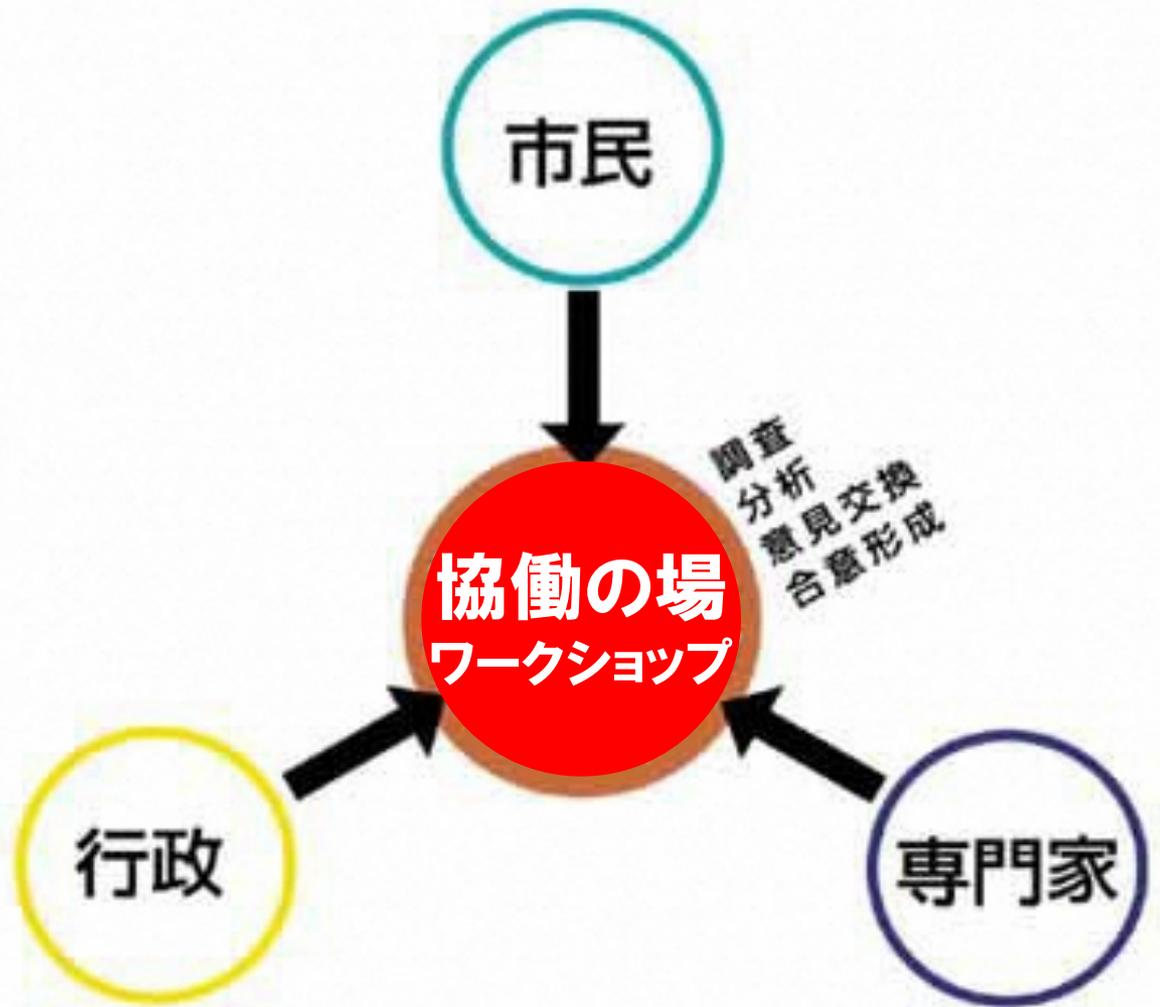
協働の公園づくり 鴨川公園出町deワークショップ



ワークショップの現場風景-その1
グループごとによる意見交換



ワークショップの現場風景-その2
各グループごとによる発表



協働の公園づくり 鴨川公園出町deワークショップ

1998.09-1999.03

1

現状認識
問題点の抽出



2

目標の設定



3

具体化の検討
(解決策を探る)



4

具体化案の
提案-評価



協働の公園づくり 鴨川公園出町deワークショップ

協働のまちづくりプロセス

(かもがわ公園出町deワークショップ)
から生まれた二つの成果

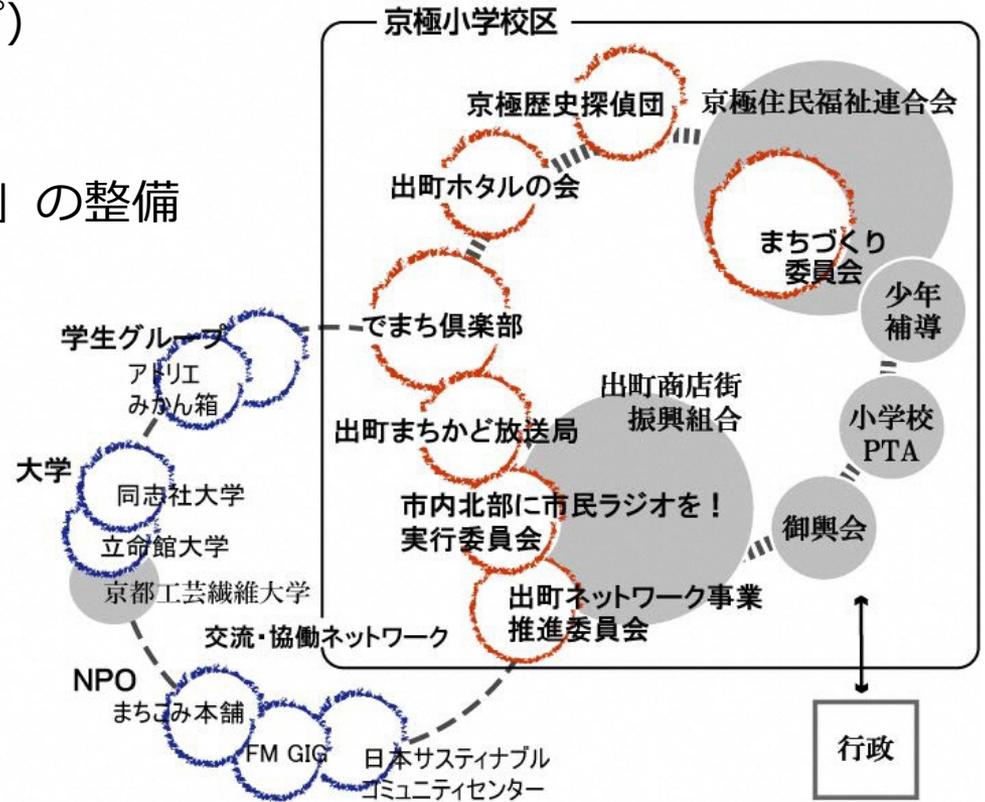
A. 物理的環境

市民ニーズを反映した「使える環境」の整備



B. 社会的環境

既存コミュニティの活性化
新たなコミュニティの形成
市民一人ひとりのエンパワーメント
(市民力をつける)



京極小学校区で展開するコミュニティとネットワーク

「ソーシャル・キャピタル」 Social Capital

コミュニティなり組織の豊かな人間関係や信頼、ネットワーク

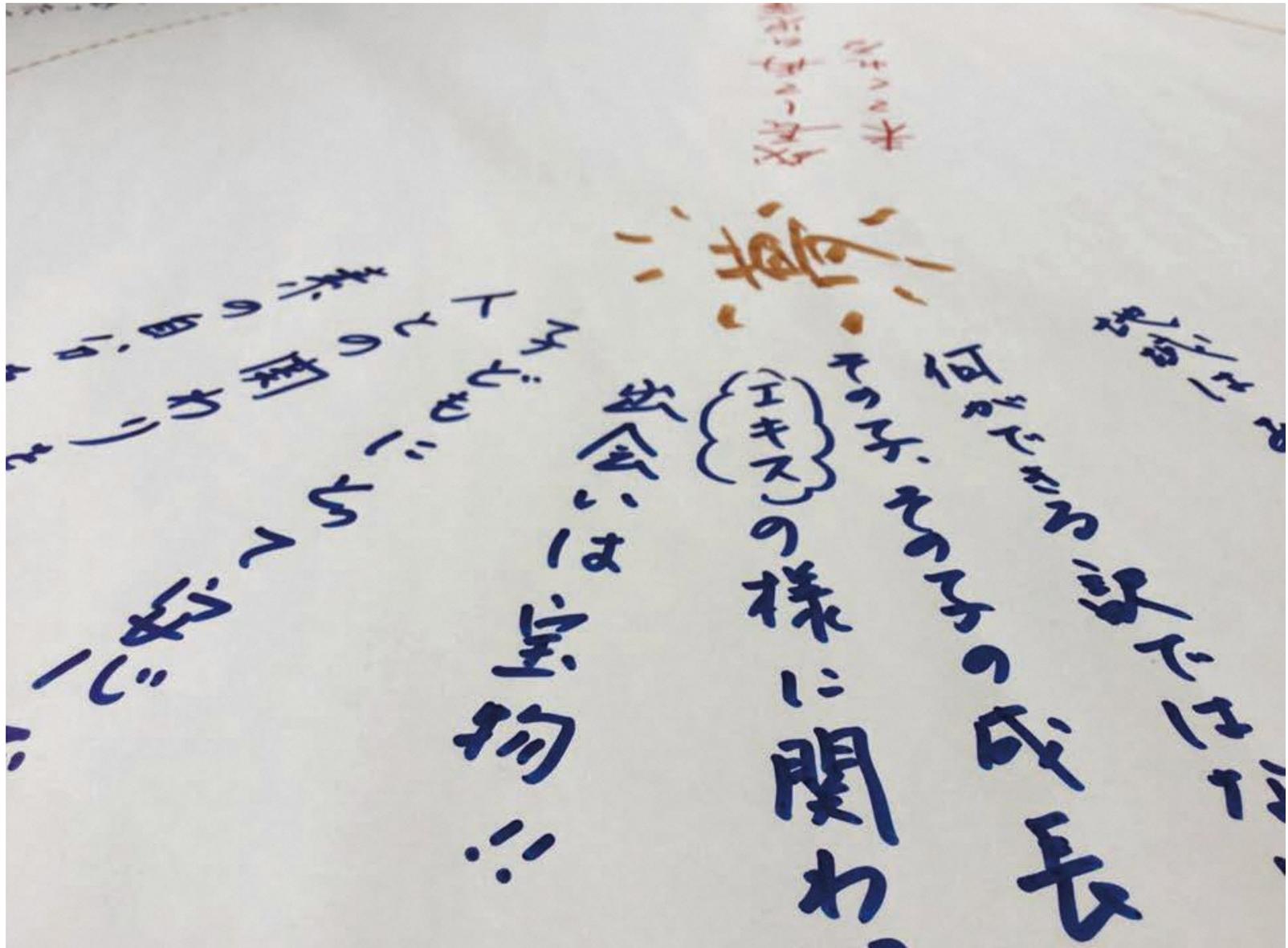
福知山市10児童館・児童センター全職員研修

目的・目標

- ・ 全回を通して：全職員の個々のスキルアップや意識の向上
- ・ 今回：職員の思いや夢の共有を行うことで、職員意識の向上や児童館活性化を図るための機運や相互関係を醸成する。



10児童館・児童センター全職員研修



知恵を集めて「私」の小さな問題を解決しよう！

① 問いを立てる

「困りごと」 「応援してほしいこと」 を提案する。

② 知恵を集める対話

グループのメンバーからアイデアを引き出す

③ 振り返り

気づきを共有する

技法：プロアクションカフェ

プロアクションカフェ提・案・者・が持っているアイデアを一步前に進めるため、自身の抱えている問題、課題や目標について他者の力を借りて再確認し、目標達成に向けて具体的な行動につなげるという対話の手法です。1テーブル4名（提案者1名、応援者3名）で対話を行い、1ラウンドごとに応援者が席を移動しながら3ラウンドを行うことで、提案者は様々な人の知識や意見を得ることができます。

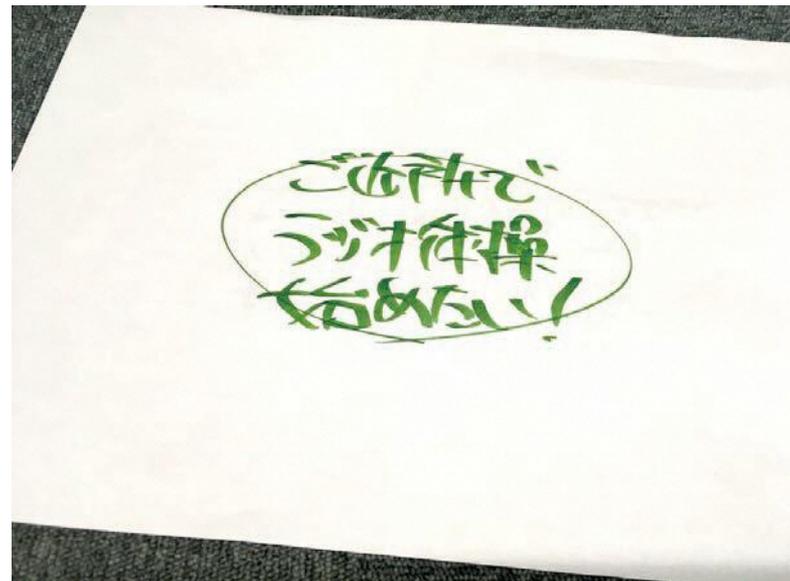
出所：左京朝カフェSEASON3第2回開催報告,2013.03（2018.04.26確認）

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sakyo/cmsfiles/contents/0000176/176628/6.pdf>

知恵を集めて「私」の小さな問題を解決しよう！

① 問いを立てる

「困りごと」や
「応援してほしいこと」を
提案しましょう



日常生活や大学で困っていること、
もう一歩前に進めたいことなどを一つあげ、
A3用紙の真ん中に簡単に書きましょう。
(3分)

知恵を集めて「私」の小さな問題を解決しよう！

②知恵を集める対話

出題者がファシリテーター（進行役）となり、メンバーからアイデアを引き出します。

メンバーからどんどんアイデアを出してもらい、A3用紙に書いていきましょう。

【技法】対話の見える化「ファシリテーショングラフィック」

制限時間は8分です。

（問題の説明：1分、アイデア出し：7分）

知恵を集めて「私」の小さな問題を解決しよう！

③振り返り

気づきを共有しよう

もうちょっとトレーニングしたい方、
ファシリテーター（進行役）に名乗り出てください。

制限時間は5分です。

ワークショップをデザインする

より創造的な場につくる
ワークショップデザインする
4つのポイント

① コンセプトの生成 [問いを立てる]

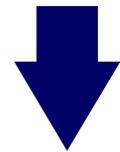
① 参加のデザイン

② 時間のデザイン

③ 空間のデザイン

関係性を醸成するワークショップ

- 1) 知り合い、学びあう
(出会い・語らい・相互学習)
- 2) 価値観の違いを認識する
(相互理解)
- 3) 信頼関係を作り出す
(コミュニティの活性化・形成)



ソーシャル・キャピタル (Social Capital)
コミュニティなり組織の豊かな人間関係や信頼、ネットワーク

自立的・継続的な問題解決 → 持続可能な地域社会

関係性を醸成するワークショップ

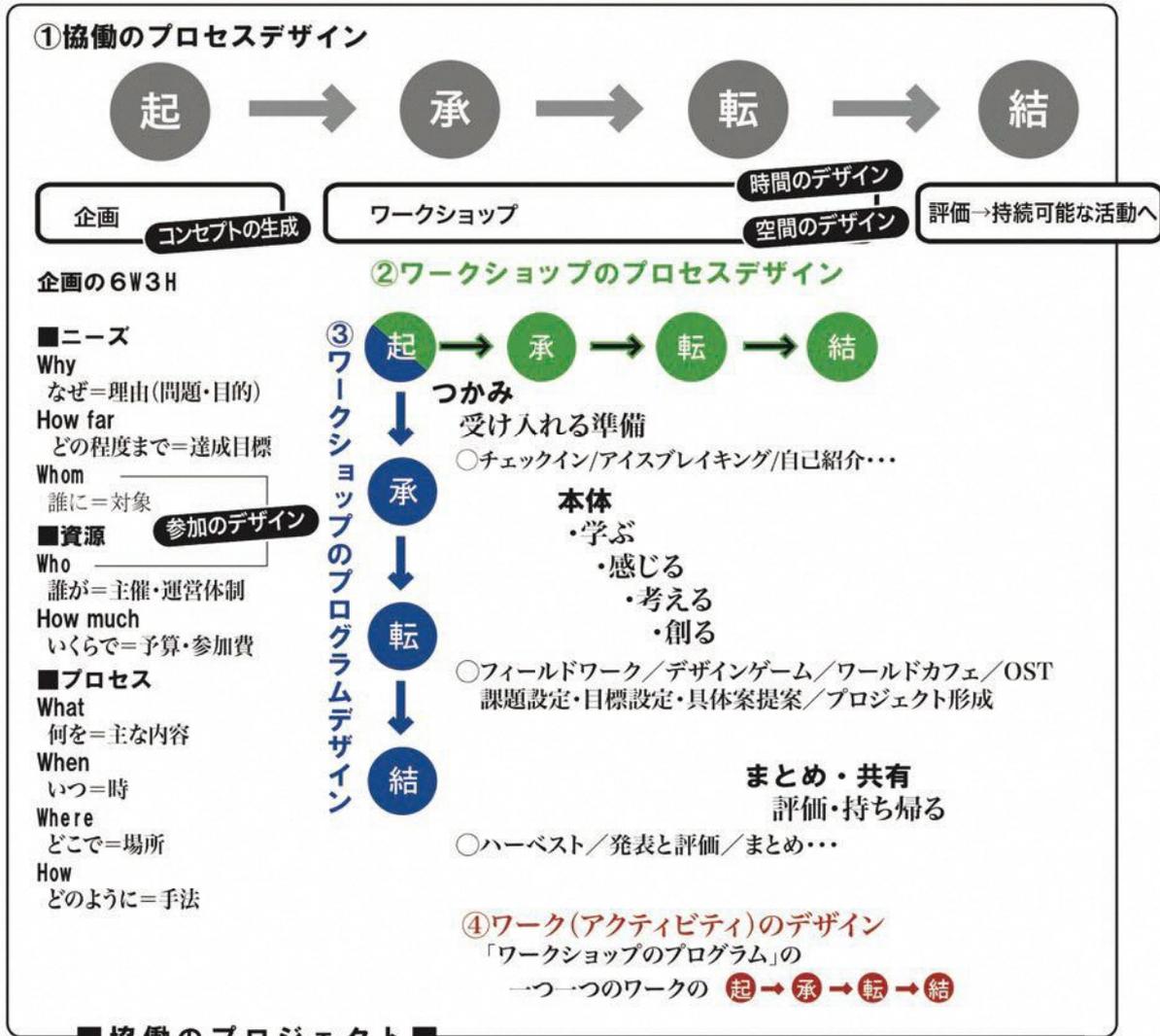
ソーシャル・キャピタル
(Social Capital)
社会関係資本



自立的・継続的な問題解決

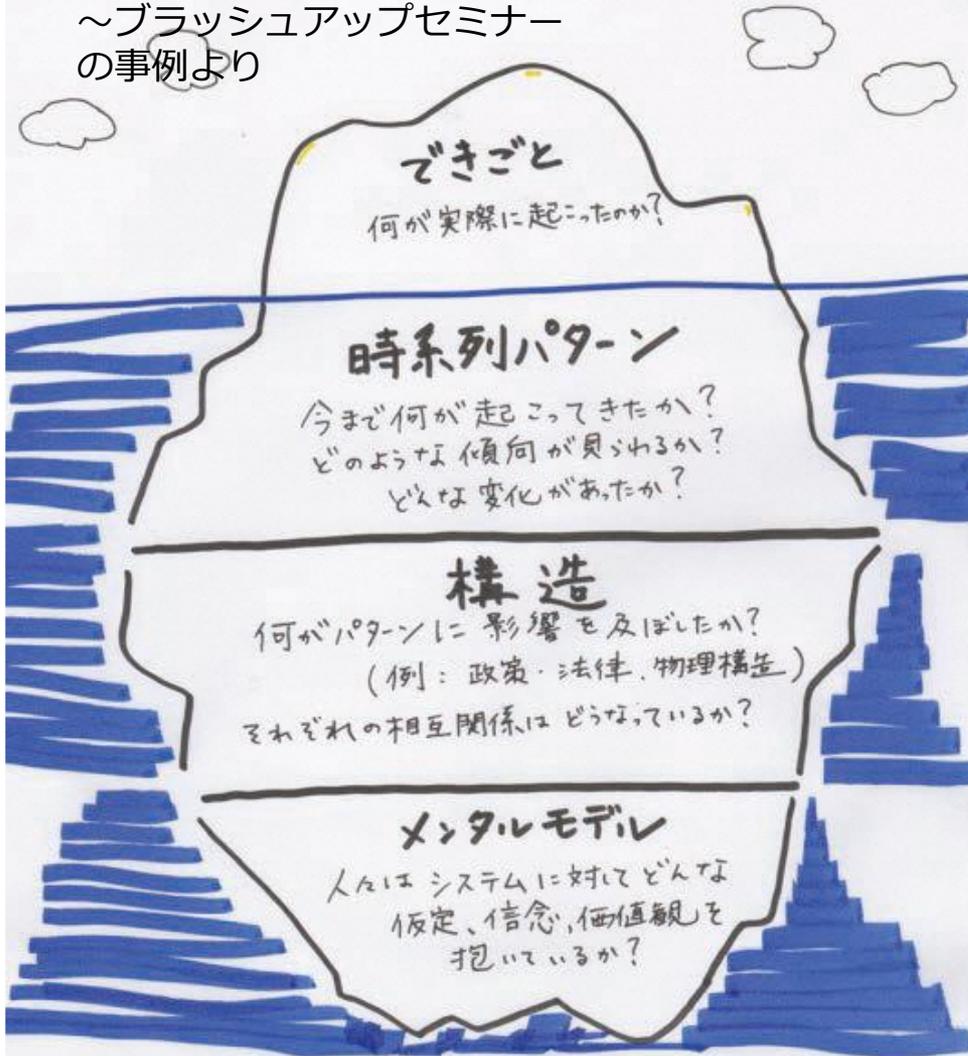


持続可能な地域社会



「関係の質」を変えるワークショップ

たんごアート&デザインプロジェクト2017
～ブラッシュアップセミナー
の事例より



作図：NPO法人 場とつながりラボ home'vi

デザイン

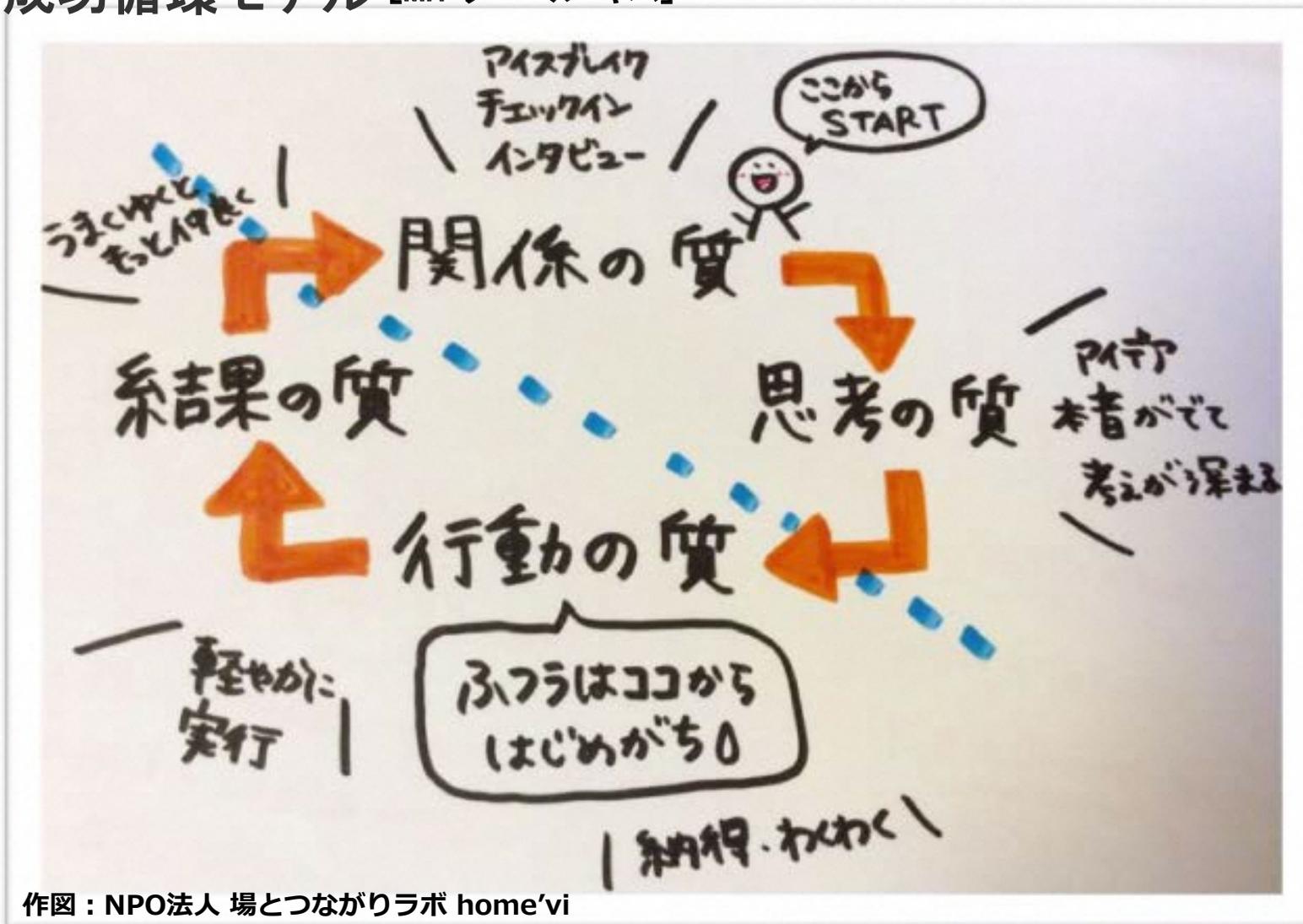
- 売上げが伸びない
- 商品の色・カタチ
 - ・ かっこよくない
 - ・ 配色が悪い
- デザイン力がない
 - ・ 素人にデザインはできない
 - ・ デザインの知識をつける
- 商品づくりの意味と価値が共有されていない。
→ **スタッフや関係者が思いや考えを共有する仕組みをつくる。**
- 障害者授産製品である
- 福祉事業のスタッフである
- 障害者の能力
→ **アイデンティティを明確にする**

出所：有限会社チェンジ・エージェント公式サイト

<https://www.change-agent.jp/systemstinking/approach.html>

「関係の質」を変えるワークショップ

成功循環モデル [MIT ダニエル・キム]



作図：NPO法人 場とつながりラボ home'vi

チェックアウト

この時間を通して

- 新しく気づいたこと
- 大切だと感じたこと

などなど

ワークショップ

対話から未来をつくろう

ありがとうございました